

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

外食産業における日本一のエクセレント・リーディングカンパニーの地位確立を目指し、企業価値の最大化を追求

2 中長期の経営戦略

1. 既存事業の再強化

既存店の強化とブランド価値向上により基盤を堅牢化

3. 新規出店拡大

出店候補地の厳選と出店拡大促進で競争優位性維持

2. 効率化の徹底

不採算店舗閉鎖、業態転換、イニシャルコスト低減

4. シナジー効果拡大

資材・食材効率調達とコスト削減、複合店・新業態開発

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 生産年齢人口減少、海外経済不確実性への対応
- ・ 原材料価格・労働単価上昇への対応

② 業界内競争の激化

- ・ 業界の垣根を越えた競争への対抗
- ・ 商品力アップと新業態開発による差別化

③ 高収益・高成長の両立

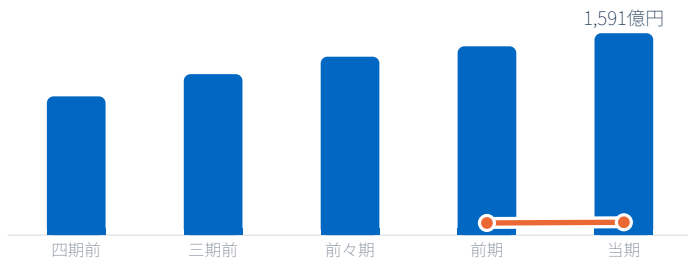
- ・ フランチャイズ・ビジネスによる収益シナジー創出
- ・ 内部統制強化とコンプライアンス推進

面接で使えるポイント

- ・ 「飲」と「食」で新たな食文化を創造し、激しく変化する経営環境に柔軟に対応
- ・ アジア中心のグローバル展開により高成長が期待できる海外事業を推進
- ・ M&Aによる事業拡大とフランチャイズ・ビジネスのノウハウ共有で収益シナジー創出

証券コード 3087

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,591億円営業利益率
6.4%財務健康度
68点 / 100点

要するに

コーヒーの焙煎加工・販売および多業態の飲食店経営を主力事業とする小売企業

主力事業・セグメント

- ・ DOUTORGROUP 60.5%
- ・ NICHIRESGROUP 35.4%
- ・ その他 4.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高1,591億円の事業規模
- ・ 将来性評価は晴れ時々曇り
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 54.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
603万円

小売業内 104位/318社

平均年齢
43.4歳

小売業内 118位/318社

平均勤続
9.0年

小売業内 196位/318社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)ドトール・日レスホールディングス【3087】：決算情報

